

月例報告	
学部	国際文化
学科	国際文化
国名	フランス
留学先	パリ・ディドロ(第七)大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:> まだ授業が開始していないため、こちらは割愛させていただきます。</p> <p><語学について> こちら割愛します。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>ここで記述しておきたいことは、派遣先のパリディドロ大学から正式な留学手続き書類が届くのがかなり遅れたため、全ての歯車がずれ、最終的に学校が始まってからも、9ヶ月間生活する住居が決まっていなかったことです。書類が遅れていたことに関しては国際交流課の方々には耳にタコが出来るほど何度もお伝えして申し訳ないですが、今後私と同じ大学に留学する後輩のためにここに記述しようと思います。</p> <p>まず始めに、パリディドロから正式な書類が届いたのが8月後半というのは他のフランスの大学と比べても極めて遅く、その為でVISAの予約は5回近く延期せざるを得なくなりました。結局VISAを取得できたのは出発5日前でした。書類が早く届かないことは法政大学でも本当にどうにもできず、ただただ焦りとイライラが込み上げてくるだけでした。直前まで本当に留学ができるか、とても不安でした。その先の一切の手続きを進められないことにも留学の諦めすら考えていました。</p> <p>次に、住居探しについてを記述します。パリディドロ大学は寮を持っておらず、5月ぐらいの段階で2択で寮の会社を希望することができました。私はCROUSという寮を希望していました。しかし、大学が持っている枠は約90室で、当り前ではありますが、それを上回る申し込みがあったため、①修士以上の学生、②ダブルディグリーの学生、③日本の提携大学と寮を確保することを約束している大学の学生、の順に埋まってしまったらしく、私はCROUSから何の連絡もなく、自動的にStudapartというサイトに登録することを勧められました。このサイトに登録するに当たり、自分の分は勿論、保証人の所得証明書、IBAN(国際銀行口座番号)、住居証明書、納税証明書、等が必要でした。しかし丁度全ての書類が届いて手続きが始められるようになった頃に両親が2週間ほど海外旅行に行ってしまったため、区役所関係の書類は委任状を出すことができず、提出書類をすぐに集めることができませんでした。</p> <p>次のステップに進めない状態でもサイト上では常に物件をチェックしていましたが、全ての書類が揃った頃には目をつけていた全ての物件が埋まってしまい、本当に途方に迷いました。直前までサイト上でオーナーと交渉を続けましたが、Availableと書いてあるから連絡をしたのに埋まっている物件や、フランス人の保証人がいないと居住できない物件、最低12ヶ月滞在しなければならない物件ばかりで本当にホームレスになるのではないかと、とても不安になりました。</p> <p>Studapartだけを頼っていても仕方がないので色々なところで探し、出発前日の未明に外務省管轄の国際大学都市における日本館(通常であれば修士以上の在仏日本人学生が5月ごろから手続きを踏んで1年間滞在できる寮)に短期滞在することが例外的に認められ、9月14日までの2週間だけ滞在することになりました。母親と出国し、母は元々ホテルを予約していたため、学校が始まるまでは母に頼ってホテルで滞在し、その後日本館に移動することしました。スーツケース3つ、合計68kgとその他の荷物20kg程を運ぶのは過酷で、しばしタクシーを使いました。</p> <p>パリではとにかく母と不動産めぐりを続けましたが、アジア人であるだけに門前払いされることが多く、実際に物件を見せてもらっても、条件が悪いものばかりで心が折れました。母親が帰るまでに物件を見つけたかったものの、ロングステイできる場所が見つからないまま母親と別れる結果になり、これ以上決まらなかつたら本当に日本に帰ろうかとすら考え始めていました。</p> <p>このように、時期が遅くなるにつれ、値段や治安面、通学面での立地、その他不自由さを考慮して条件が合う物件が少なくなるため、事前に nestpick.com や leboncoin.fr 等サイトを活用した方が良かったと思いました。</p> <p>最終的に、大学が始まってから2日目に国際交流課に行った時、どういう事かCROUSに空きがあったようでそこに入居することに決めました。一安心ではありましたが、なぜ今更言ってくるのか、今までの葛藤は何だったのか、どうしてもっと前に教えてくれなかったのかという怒りが込み上げてきました。大学側は総勢300人程度の留学生を迎えているようで、全然サポートしきれていない感じがします。現地の学生も、教育の質は良いがその他の事務関係はあまりよくないと言っていました。</p> <p>3.その他(今、感じていること～心境の変化やご自分の成長等)</p> <p>学校が始まって以降も住居が決まっていなかったことで、携帯電話の契約、保険の加入、市内定期の購入、TGV max(新幹線乗り放題の定期)の購入、移民局の申請、口座の開設等ができず、他の学生よりも不自由を感じています。以前SAの時もアンジェでホームステイの件で色々問題があったため、今回も住居の事で災難に合うことに、またかという思いで正直うんざりしています。私は完璧主義ではないけれど、ある程度始めからプランを全て決めておきたかったし、住まいぐらい決まった状態で出国するのが当前だと思っていたので、あり得ない事態に本当に呆れていました。大学に怒っても仕方がないし、フランス人で実際に頼れる人が思いつかず、もう本当に全てを諦めて最悪『帰国』という言葉の頭に浮かべてすらいきました。</p> <p>一連の件で、フランスの手続きの雑さと遅さにはもう慣れました。自分の普通に通じない相手に、かなりペースダウンして広い心で対応する力がついたと思います。</p>